

めざす学校像・子ども像・教員像		課 題	今後の改善方策
<b>【目指す学校像】</b> ○保護者や地域社会から信頼され、生徒が安心して登校できる学校 ○教育環境を整備し学習に専念できる学校 ○いじめや不登校がなく、正しいことが認められる学校 <b>【目指す生徒像】</b> ○目的・相手・場に応じた心構え・物構え・身構えができる生徒 ○ルールに基づき自分の意見や行動を建設的に示す生徒 ○目標達成を目指し、自他を認め協働できる生徒 <b>【目指す教師像】</b> ○わかる授業を目指して指導技術を向上させる教師 ○学校教育目標の達成に向けて、互恵的なコミュニケーションがとれる教師 ○教師としての専門的なキャリアアップを図る教師		基礎学力の定着及び、指導方法の工夫改善を通じた学習指導の充実	令和2年度に導入予定のICT活用の工夫 ・教師用タブレットをはじめとした教育環境の整備と活用 ・クラウドを活用した教師の授業改善動画と生徒活用動画の普及
		規範意識の育成と不登校を生まない生徒指導の推進	不登校の未然防止ときめ細やかな連携システムの構築 ・福岡教育大学川口准教授の分析を中心とした、教育相談、Q-U調査、学力調査の分析と活用 ・本校独自の昼・夜ステップアップスクール、保護者の会との連携
		「當仁不讓於師」の精神と自己指導能力を育成する道德教育の推進	インクルーシブ教育、ユニバーサルデザインの視点に立った教育活動 ・特別支援学級への理解と交流活動 ・西日本短期大学留学生との交流を通じた国際理解教育
重点目標	指標(取組指標・成果指標)	達成状況についての説明	
基礎学力の定着及び、指導方法の工夫改善を通じた学習指導の充実	基礎・基本の定着と主体的・対話的な深い学びの充実を目指し、小集団を活用した授業改善の取組を進める。(取組指標)	①10月までに教員全員が学び合いや小集団の形態及びICT等を活用し、個に応じた指導方法の工夫を実施 ・評価を実施・学び合いや小集団の形態は100%達成。 ・ICT等の活用は90%達成。 ②7月と10月に、教師及び生徒対象の授業 ・教師の授業評価は100%実施。 ・生徒の授業評価は70%実施。	
	補充学習(定期考査前)・学習コンクール等を計画的に実施する。(取組指数)		
	家庭学習について90%以上の生徒が定着できるようになる。(成果指標)		
	全ての教科で、主体的・対話的な深い学びにつながる小集団を活用した学習を取り入れる。(成果指標)		
規範意識の育成と不登校を生まない生徒指導の推進	未然に防ぐ指導体制の確立と職員間の情報の共有化を図り、個に応じた指導を徹底する。(取組指標)	①学期1回、全職員による配慮すべき生徒の連絡会の実施 ・不登校生徒22%減少達成。(H30年度 2・3年の復帰・改善 不登校数19名から16名、復帰率16%→R元年度2・3年の復 帰・改善不登校数19名から13名) ②週1回のSC・SSWを交えた生徒指導委員会の情報と手立ての共有 ・学期1回、全教職員による配慮すべき生徒の連絡会100% ・週1回のSC・SSWを交えた生徒指導委員会の情報と手立ての共有100%実施 ③家庭訪問による保護者との連携 ・担任による連絡、不登校教員による連絡、SSWによる連絡	
	不登校対応教員・SC・SSW・担任との連携を密にし、家庭訪問や保護者連絡等の対応を迅速に行う。(取組指標)		
	個に応じた支援を工夫し、不登校傾向の生徒の減少を目指す。(成果指標)		
	生徒アンケートで、規範意識に関する項目に対する肯定的回答が、前年度に比べ1割以上の増加を目指す。(成果指標)		
「當仁不讓於師」の精神と自己指導能力を育成する道德教育の推進	道德教育・人権教育の研修を通して、生徒の自己指導能力に関する実践力を高める。(取組指標)	①道德、人権教育研修の実施 ・夏季研修会、特設研修会による実施100% ②ローテーションによる道德授業 ・全学年での取り組み100%実施 ③重点項目による生徒アンケート調査 ・勉強でわからないことやできないことでも、頑張ってみようと思うか(6月85%→11月87%) ④自尊感情の調査についての肯定的回答 ・今の自分は好きですか(6月74%→11月75%)	
	学年全職員でローテーションを組んで道德授業を行う。相互に授業を参観を行い、実施後検討会を行う。(取組指標)		
	重点項目を定めて取り組み肯定的回答が前年度に比べて1割以上の増加を目指す。(成果指標)		
	生徒アンケートにおいて、自尊感情の項目に対する肯定的回答をする生徒の割合が前年度を上回る。(成果指標)		
学校関係者評価についての説明(評価委員からの意見・要望・改善に向けた提言等)			
(効果)○生徒を伸ばすために、様々な取り組みがなされている。・学力向上については、職員室前の勉強ブースの設置など、生徒の学習意欲の啓発に役立っている。・総合的な学習での社会人講和により、生徒の精神面の向上が見られる。・生徒のグローバル化の意識づけに向けて、留学生や大学との交流は良い。・生徒指導面については、多くの生徒が地域の人へ明るく尊重した態度で接しており、地域の学校としての良さが引きだされている。 (今後への期待)○引き続き一人一人を伸ばす教育、自他を認め協働できる機会を作ってほしい。・教育相談や先生方との対話の機会、アンケート等での問題の把握にも引き続き、力を入れてほしい。・学校での教育活動や思いが、保護者にも理解され、自学を保護者が手助けできればいいと考える。			